

松本市教育研修センターだより

No.17 令和5年8月31日

夏季休業中の研修から

8月が終わろうとしています。各学校では2学期がスタートし、実りの秋に向けて、活気のある日々を歩みはじめておられることと思います。大変暑かったこの夏休みですが、多くの学校で2学期の学びの充実に向け、先生方の様々な学びの機会が営まれたとお聞きしています。

教育研修センターが主催する希望研修にも、多くの先生が主体的にご参加いただきました。その中から2つの研修の様子をご紹介します。

ベースボール型球技の授業デザイン

7月31日、松本大学教育学部 准教授 濱田敦志 先生を講師にお招きして、ベースボール型球技に関する研修講座を開催しました。本講座では、ベースボール型球技の楽しさを、工夫されたゲームの実践を通して味わいました。

講座は、ベースボール型球技の特性を理解する座学と、座学で学んだ内容の実践という2部構成でした。

ベースボールに取り組む子どもは、いくつかの不安を抱えて授業に取り組むことが少なくありません。「バットにボールが当たらなかったらどうしよう」「どのベースでアウトにしたらいいのかな?」「自分の番でアウトになるのは嫌だな」などの不安です。また技能の高い子どもがゲームを独占し、その他大勢の子どもが「ただいだけ」の状態に陥ることも懸念されます。

本講座では、この課題点を低い難易度のゲームから徐々に難易度を上げ、私たちの知っている正規のルールに近づけるゲームが展開されました。具体的には、「バットを使わずボールを投げて走る」「ボールをスタンドに置いて打つ」「3アウトは導入せず打者一巡で攻守交代する」「体育館の壁に向けて打ち、ヒットによる出塁を制限する」などのルールが導入されました。

今回の学びが各校で実践され、子どもの学びが一層深まることが期待されます。



【参加者の感想から】

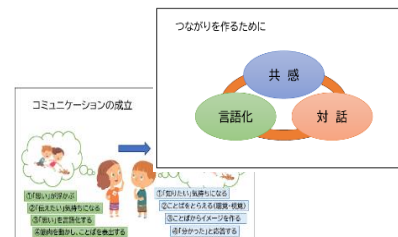
実際に体を動かしながら体験したことで、運動の苦手な私も「これは面白い。楽しい。」と感じる場面がたくさんありました。ベースボール型ゲームは、運動の技能だけでなく、それぞれの役割を選択し担うことで、主体的に参加しやすいことも分かりました。

特別支援教育研修「見方が変わる！子ども理解と保護者支援」

8月1日 「見方が変わる！子ども理解と保護者支援」をテーマに、特別支援教育に係わる1日研修が行われました。

午前は、信州大学 特任教授 庄司 和史先生をお迎えし、「保護者とのつながりを考える ～不登校などの子どもの姿を通して～」と題して、保護者とのつながりを作る上で特に大切にしたいことについてお話いただきました。

午後は、ななこネット（中信地区特別支援学校7校ネットワーク）の先生方を講師にお迎えし、「聞く、指示を受ける、書く等について」の疑似体験を行いました。普段は、何かと慌ただしい中での研修になりがちですが、夏休みの1日にゆっくりと研修を受けることができました。機会があれば、通常学級担任の先生方にもぜひ受講いただければと思います。（次ページに続く）



【参加者の感想から】

◆「子どもの問題にしているが、子どもが適応できないのではなく学校側が対応できていないのではないかと自分にも思い当たることがあった」◆「子どもたちや保護者の表面上の姿やことばの裏側にある『本心』に耳を傾けることの大切さを強く感じた」◆「親はクレーマーではない。親の話を聴きたいと思って聞けていなかった、対話ができなかった」◆「『書く』ことが苦手なことがこれ程苦しいこととは思わなかった。こんなに苦しいことを生徒にやってもらうには、しっかりと目的や支援が必要だと感じた」◆「疑似体験をしてみて、今までやってきたことを反省した」◆「自分が意外と分かりにくい指示を題していると思った。この伝え方でいいのかよく考えて伝えたい」

2 学期、追加募集する研修講座一覧

どれも魅力的な講座です！
奮ってご参加ください！

講座番号	講座名	期日	お奨めポイント
C01	小学校国語授業づくり I	9月15日	昨年好評だった講座の第2弾 松本大学の上月康弘先生とともに、文学教材の教材研究をし、授業デザインを考えます。今年の第1回は、「ごんぎつね」。子どもと一緒に文学を読み解く楽しさを味わいましょう。
C13	データサイエンス研修 I	9月15日	学校評価アンケートの結果はどう分析したらいいの？、全国学調の結果から何がわかるの？など、講義と演習をとおして、データ分析を学校マネジメントにつなげる考え方と実践方法を学びましょう。
C02	算数数学授業づくり II	9月19日	昨年好評だった講座の今年度第2弾 松本大学の佐藤茂太郎先生とともに、「わりあい難しいどころか、とっても難しい」と言われている「割合の指導」について、苦労していること・工夫していることについて考え合ひましょう。
E05	ミドルリーダー研修 I	9月21日	全てのみなさんを対象とした「ミドルリーダー」の入門講座の第1回目です。ミドルリーダーって何をすればいいの？という基本的な問いを考えることを通して、仕事の視野が少し広がる経験を味わいましょう。
E06	まつもと講師塾 III	9月25日	第3回のテーマは「教室の気になるあの子を理解する」。長野県発達障がい情報・支援センターの宮内かつら先生を講師に迎え、特性のある子どもの理解や対応についての基礎・基本を学びます。
C12	小学校プログラミング実習 II	9月29日	プログラミングで多角形の作図ってどうするの？センサーを使った電気の有効利用って？など、小学校高学年で必修のプログラミング教育（A分類）の授業を実践的に学びます。研修で扱う教材を使ってすぐに授業を進めていただけるようになります。
E05	ミドルリーダー研修 II	10月16日	信州大の荒井英治郎先生を講師に迎え、ミドルリーダーを中心とした「ボトムアップによる働き方改革」をテーマに、学校ですぐに応用できる組織マネジメントの基礎を学びます。
C01	小学校国語授業づくり II	10月20日	第2回の教材は「やまなし」（6年）。豊かな作品世界を子どもと一緒に探究していく授業を一緒に考えましょう。
D03	発達障がいとトラウマと不登校	10月20日	発達障がいについての理解を深めることはもちろん、不登校と絡めて総合的に理解することのできる講座として、昨年度も好評でした。樋端先生の貴重なお話をお聞きできるのはこの講座だけ！申し込みがまだの先生はお早めに！
C11	まつもと学研修 III	10月27日	好評のフィールドワーク第3弾です。「街の見え方が変わった」「次はぜひ子どもと一緒に実践したい」など、授業づくりや教材化のヒントが詰まっています。今回は林城址を題材にして、講師の上條直利先生の解説をお聞きしながら学びましょう。
D06	特別支援学級における自立活動の基本	10月30日	昨年度も好評だった講座です。まだ受講したことのない先生方はもちろん、昨年度受講された先生もぜひ足をお運びください。むしろ、昨年度受講された先生はより理解が深まり、満足感が大きくなると思います！
C01	小学校国語授業づくり III	11月17日	第3回の教材は「三年とうけ」（3年）。楽しい作品をとおして子どもたちのどのような力をどのように引き出していか、一緒に考えましょう。
C13	データサイエンス研修 II	11月17日	研修Ⅰの内容をもとに各校で行った調査やアンケートの結果を実際に分析する実践的な講座です。生のデータを分析し、得られた結果について考察してみましょう。
E05	ミドルリーダー研修 III	11月20日	松本大学の樋口一宗先生を講師に迎え、インクルーシブな教育環境実現のために、ミドルリーダーとしてどのようにかかわるかを学びます。
C02	算数数学授業づくり III	11月28日	14時30分に開智小学校に集合し、5年生の「割合」の授業を参観した後、実際の子どもたちの姿を通して、「割合」の指導の難しさや工夫するポイントをみんなで考え合ひましょう。
D05	特別支援教育生活単元学習の授業づくり	12月14日	中信地区7校の特別支援学校「ななこネット」の先生方を講師に迎え、生活単元学習の授業づくりについて学びます。可能な限り、知障学級の先生方の各校1名以上ご参加をいただければと思います。
E05	ミドルリーダー研修 IV	12月15日	今年度の最終回は「先生の幸せ研究所」の澤田真由美代表にお越しいただき、「常識」「前例」とらわれず、現実に対応する柔軟な考え方（批判的思考）について演習を通して学びます。
C07	一人一台端末を活用した授業づくり（応用編）	12月19日	端末活用検討委員会の実践発表を参観し、松本市のICT環境で実施可能な様々な実践にふれることができます。実際に教材にふれたり、参加者どうし協議したりすることをおして、タブレット活用についての考えを深めましょう。